



【教職員用教材】  
【対象：中学1年生向け】



# 志摩スペイン村キャリア学習プログラム

## 「マニュアル」



## キャリア教育とは何か

### ・キャリア教育の必要性と意義

キャリア教育の重要性が叫ばれるようになった背景には、情報技術革新に起因する社会経済・産業的環境の国際化、グローバル化がある。このような社会環境の変化が、子どもたちの成育環境を変化させたと同時に子どもたちの将来にも多大な影響を与えたことを認識することが重要である。情報技術革新は、子どもたちの成長・発達にまで及び、さらに教育の目標、教育環境にも大きな影響を与え始めている。

子どもたちが育つ社会環境の変化に加え、産業・経済の構造的変化、雇用の多様化・流動化等は、子どもたち自らの将来のとらえ方にも大きな変化をもたらしている。子どもたちは、自分の将来を考えるのに役立つ理想とする大人のモデルが見付けにくく、自らの将来に向けて希望あふれる夢を描くことも容易ではなくなっている。また、環境の変化は、子どもたちの心身の発達にも影響を与え始めている。例えば、身体的には早熟傾向にあるが、精神的・社会的側面の発達はそれに伴っておらず遅れがちであるなど、全人的発達がバランス良く促進されにくくなっている。具体的には、人間関係をうまく築くことができない、自分で意思決定できない、自己肯定感をもてない、将来に希望をもつことができない、といった子どもの増加などがこれまでも指摘されてきたところである。

とどまることなく変化する社会の中で、子どもたちが希望をもって、自立的に自分の未来を切り拓いて生きていくためには、変化を恐れず、変化に対応していく力と態度を育てることが不可欠である。そのためには、日常の教育活動を通して、学ぶ面白さや学びへの挑戦の意味を子どもたちに体得させることが大切である。子どもたちが、未知の知識や体験に関心を持ち、仲間と協力して学ぶことの楽しさを通して、未経験の体験に挑戦する勇気とその価値を体得することで、生涯にわたって学び続ける意欲を維持する基盤をつくることができる。また、多くの学校で実践されている自然体験や社会体験等の体験活動は、他者の存在の意義を認識し、社会への関心を高めたり社会との関係を学んだりする機会となり、将来の社会人としての基盤づくりともなる。さらに、子どもたちが将来自立した社会人となるための基盤をつくるためには、学校の努力だけではなく、子どもたちにかかわる家庭・地域が学校と連携して、同じ目標に向かう協力体制を築くことが不可欠である。今、子どもたちが「生きる力」を身に付け、社会の激しい変化に流されることなく、それぞれが直面するであろう様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会人として自立していくことができるようにする教育が強く求められている。

【文部科学省「キャリア学習とは何か 第一章」より抜粋】

【教職員用教材】  
 【対象：中学1年生向け】

## キャリア学習プログラムについて

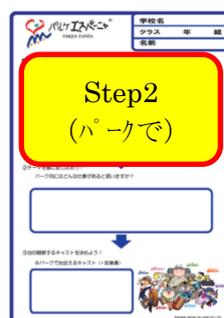
パルクエスパーニャでは楽しみながら学べるキャリア学習の一環として、主体性（物事に進んで取り組む力）やチームワーク（自分の意見を伝える力、相手の意見を聴く力）を育てる自己学習シートをご用意しております。

笑顔で働くキャスト（=従業員）を観ることで仕事の楽しさが伝わる。楽しく学べるキャリア学習としてご活用ください。

※弊社キャストの講話やインタビュー機会の設定はありません。

- Step1 （教室で）・・・互いの役割や役割分担の必要性が分かる。  
 （自分たちで役割を決め、話し合うことでコミュニケーション能力を養う。）
- Step2 （パークで）・・・仕事における役割の関連性や変化に気付く。  
 （観察することで仕事の流れや役割が見えてくる。）
- Step3 （教室で）・・・体験をふりかえり、話し合う。  
 （自分の意見を伝える力、相手の意見を聴く力を育てる。）

### 「生徒用教材」



### 「教職員用教材」

